

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	高知県の河川における良好な河川環境の再生に向けた推進												
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	高知県												
計画の目標	奈半利川では発電を目的に3つのダム(魚梁瀬・久木・平鍋)が建設されており、発電のための取水の結果、特に平鍋ダム下流の減水区間で、流水の減少による河川環境の悪化により、観光資源など地域経済への影響や人と川との共生が損なわれ、流域の自治体や漁業関係者などから、改善の要望書が提出されるなど社会的な問題となっている。そこで、支川の小川川から清水バイパスにより清澄水を取水し、ダム下流に放流させることにより、減水区間の水質の改善や流水の量を増やし、良好な河川環境の再生を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,050	A	1,050	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H33末)
1	河川維持流量の増大(平鍋ダム下流への最大放流能力 現在:平鍋ダム維持流量0.3m <sup>3</sup> /s/100km <sup>2</sup> →整備後:清水バイパス放流能力分0.4m <sup>3</sup> /s/100km <sup>2</sup> を増強し、放流能力合計を0.7m <sup>3</sup> /s/100km <sup>2</sup> とする。完成時点の目標放流量は0.5m <sup>3</sup> /s/100km <sup>2</sup> ) 平鍋ダム地点での放流量を測定する。	1m <sup>3</sup> /s/100km <sup>2</sup>	m <sup>3</sup> /s/100km <sup>2</sup>	1m <sup>3</sup> /s/100km <sup>2</sup>
2	濁水長期化の改善(濁水長期化が問題となったS62年には、出水後に濁度10以上の日が137日続いた。→出水後の濁度を1週間以内に10度以下にする。) 平鍋ダム下流地点における濁度を測定する。	137日	日	7日

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
当初目標:0.3m <sup>3</sup> /s/100km <sup>2</sup> 、最終目標:0.5m <sup>3</sup> /s/100km <sup>2</sup> ※整数入力のため、1を記載しています。														

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												H28	H29	H30	H31	R02						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
その他総合的な治水 事業	A08-001	自然再生	一般	高知県	直接	高知県	環境	—	奈半利川総合流域防災事 業	清水バイパスL=3,600m、取水 ・放流設備1式	北川村	■	■	■	■	■	1,050		—			
												小計						1,050				
											合計						1,050					

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

高知県土木部にて事後評価を実施

事後評価の実施時期

中間報告：未実施 事後評価：令和5年9月

公表の方法

高知県土木部土木政策課のホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

河川維持流量の増大及び濁水長期化の改善に必要な清澄水を取水する施設の金物設備の製作を完了させることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

指標①、②に関する事業については、令和3年度～令和7年度を計画期間とする「高知県の河川における良好な河川環境の再生に向けた推進」により、事業を継続実施していく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	1m3/s/100km2	用地調査で確認した共有地の買収が難しいことから、管路の敷設方式及び敷設位置の見直し検討に時間を要したため
	最終実績値	0m3/s/100km2	
2	最終目標値	7日	用地調査で確認した共有地の買収が難しいことから、管路の敷設方式及び敷設位置の見直し検討に時間を要したため
	最終実績値	0日	

(参考図面)

計画の名称	1 高知県の河川における良好な河川環境の再生に向けた推進		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	高知県

